



# 学校だより

東京都立府中けやきの森学園  
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1  
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476  
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>  
令和7年12月25日(木)発行 第10号

## 充実の2学期

副校长 法月 英里

2学期には多くの行事があり、事前・事後の学習を含めると、まさに教育活動の充実期であったと思います。先月の学校だよりで御紹介した「文化祭」以外にも、児童・生徒たちの様々な活躍がありました。

東京都特別支援学校・特別支援学級設置学校体育連盟「ティーボール大会」において、知的障害教育部門高等部の球技部が準優勝、同連盟「サッカー大会」スーパービギナークラスにおいて、同じく球技部が準優勝を収めました。また、「全国障害者スポーツ大会」バスケットボールの部に、知的障害教育部門高等部生徒1名が選手として参加し、優勝、「ミラコン 2025~未来を見通すコンテスト~第8回プレゼンカップ東京大会」では、肢体不自由教育部門高等部生徒1名が3位、2名が努力賞を受賞しました。生徒たちの活躍を大変嬉しく思います。地域と連携した活動では、府中市立小柳小学校の児童と本校の両部門小学部の児童たちによる合同チームが、「小学生ボッチャ競技会 2025」に参加したり、両部門小・中学部の児童・生徒が、府中市立白糸台小学校の運動会で、白糸台小学校の5年生とともにインクルーシブソーラン節を踊ったりしました。どちらも、今後の継続が楽しみです。

12月13日(土)には、都立多摩桜の丘学園において東京都教育委員会「令和7年度 笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の取組「自由な美術活動空間(第1回)」が行われ、美術・表現活動に関心のある生徒、卒業生が、美術に造詣の深いファシリテーターのアドバイスを受けながら思い思いの表現活動を楽しみました。本校からは肢体不自由教育部門中学部生徒1名が参加しました。用意された様々な画材を使って存分に表現することができ、美術の面白さ、活動に集中する楽しさを体感できたと思います。第2回は、令和8年2月21日(土)に本校の西体育館で行われます。美術が大好きな中・高生の参加をお待ちしています。

試合、発表などの当日に向けて重ねた努力、本番の緊張感や達成感により、児童・生徒たちの心と体は、本当に大きく成長したと実感します。保護者の皆様、地域の皆様から、様々な御協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。児童・生徒たちの成長を励みに、教職員一同、更なる教育活動の充実を目指してまいります。3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

## お知らせ

肢体不自由教育部門小学部5年1組担任 前田 千歳教諭が、東京都教育委員会のホームページで紹介されました。

[臨時の任用教員 STORY 04 | 教員のリアルを知る | 東京都公立学校 臨時の任用教員・時間講師募集](#)

## お問合せ

◇平日(午前8時30分から午後6時まで) 042-367-2511 (学校の代表番号)  
◇平日の上記以外の時間帯及び土曜・日曜・祝日と12月27日(土)から1月4日(日)までの期間の緊急時  
090-8343-9120 (学校携帯の番号)

※学校携帯にお電話いただいた場合は、副校长が対応いたします。電話に出られないことがありますので、必ず留守番電話にメッセージを残すようお願いいたします。

## 肢体不自由教育部門高等部のICT機器を活用した授業

肢体不自由教育部門高等部主任 主任教諭 平田 愛子

肢体不自由教育部門高等部では、一人1台の学習用端末を所持し、教育活動のさまざまな場面で活用しています。ただし、すべての活動でICT機器を優先しているわけではなく、場面や生徒の実態に応じて適切に使い分けることが大切だと考えています。

例えばCグループでは、今年、畑を開拓しさつまいもを育てました。堆肥と土を混ぜることや苗の水遣りは、教室でスイッチを使って行いました。困難な活動もスイッチを使えば自分で達成できます。一方、苗植えや収穫は実際の畑で行いました。畑から伸びた蔓を引っ張り、さつまいもを掘り起こす経験は、印象的で実体験だからこそ感動がありました。生徒の実態も様々ですが、目標や生徒の実態・課題を明確にしたうえで、どの手段が適しているかを常に考え、教材を選択しています。



Bグループのある生徒は、自分の考えを伝える際、タブレット端末を活用しています。文章で書くと細かいニュアンスまで表現でき、記録にも残せることが利点です。しかし、もっと早く端的に伝えたいときは、カットテーブル上の選択肢を指差す方法で伝えます。この方法だと、伝えたいときに短時間で誰にでも伝えられます。

このように、状況に応じて複数の手段を使い分けることが求められます。高等部は卒業後の生活が目前に迫る段階です。将来充実した生活を送るために、「どんな手段を選び、どう使うか」を生徒自身が判断できる力を育むことを、高等部の教育として、大切にしていきたいと考えています。

## 知的障害教育部門高等部1年のICT機器を活用した授業

知的障害教育部門高等部1年学年主任 主任教諭 山田 由佳

知的障害教育部門高等部1年生では、各授業においてICT機器を活用し、生徒の皆さんの主体的な学びに繋がるよう教材の工夫や改善を行っています。なかでも美術の授業では、制作手順の説明、作品鑑賞にICT機器を活用しています。作品の制作手順を説明する際には、文字や効果音を動画と同時に提示することで、生徒がより集中して見ることができ、見通しをもって活動に取り組むことができます。また、毎時間の鑑賞の際に、写真で撮影した作品をモニターに映し、生徒一人一人が自分の作品のポイントなどを発表しています。必要に応じて拡大して映すことができるため、制作者である生徒が自分の作品の見てほしい個所を効果的に示すことができます。また、友達の作品を鑑賞する側の生徒にとっても、注目するべきポイントが明確になることで注目しやすく、友達の作品に対する感想が言葉や拍手等で表現しやすく、有意義な時間となっています。

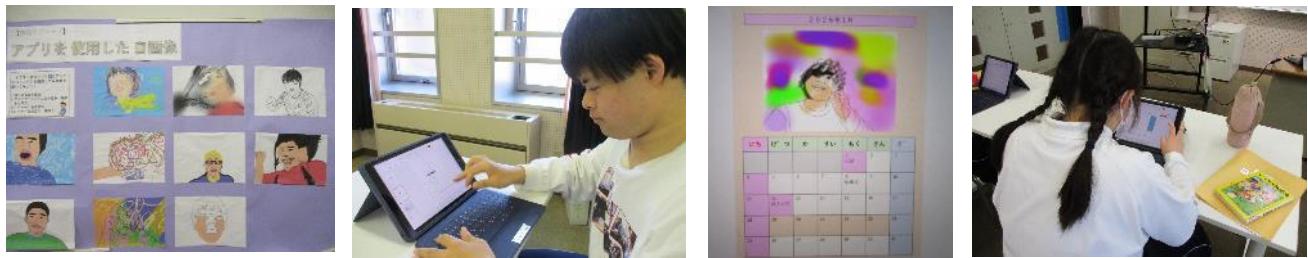
今後も様々な授業において、効果的なICT機器を活用した教材研究に取り組み、生徒たちの学びが豊かなものになるよう努めています。



## 知的障害教育部門高等部2年のICT機器を活用した授業

知的障害教育部門高等部高等部2年学年主任 主任教諭 兵庫 侑子

知的障害教育部門高等部2年生では、各授業において、生徒の実態に合わせてICT機器を活用しています。なかでも、情報の授業では、一人1台端末を活用し、オリジナルカレンダーを作成しています。単元の始めでは、タイピングの練習をし、数字や文字を打てるよう練習をしていきました。操作が難しい生徒には教師と一緒に操作を行うことで、徐々に打つ場所が分かるようになりました。その後、アプリを使用し、カレンダーのイラストとなる自画像を作成しました。名前の記入がなくても、誰の自画像なのか分かる仕上がりとなりました。また、オリジナルカレンダーの作成を進める中で、自分の予定を入力する生徒もいました。完成すると「できました」と嬉しそうに報告する姿や友達のカレンダーを見て、「かわいいね」とお互いにオリジナルカレンダーを見せ合う場面もありました。世界にたった一つのオリジナルカレンダー作成に意欲的に取り組んでいました。今後も各授業において、生徒たちが意欲的に取り組めるICT教材を取り入れていきます。



## 知的障害教育部門高等部3年のICT機器を活用した授業

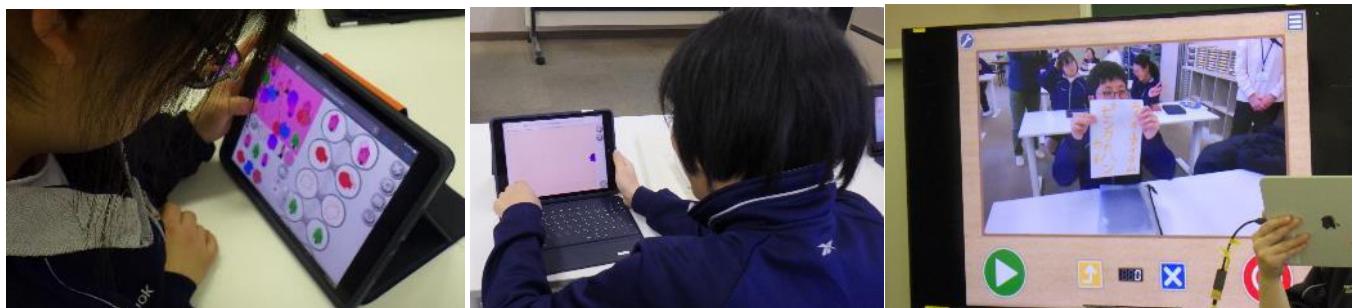
知的障害教育部門高等部3年 教諭 江里 綾乃

知的障害教育部門高等部3年生の情報の授業では、一人1台端末を活用し、10月から11月にかけてオンラインプログラミングソフトを使った「インベーダーゲーム作り」に取り組みました。

はじめに、2年生のときに学習したプログラミングソフトの使い方を復習しました。次に、教師が作ったプログラムを見ながら実際にゲームを作り、完成したゲームで遊びました。最後は、これまでの学習を思い出しながら、自分の力でプログラミングに挑戦しました。

2回ゲーム制作を行ったことで、「横に動かしたい」、「上に飛ばしたい」など、自分の考えをもとに工夫しながらプログラミングする姿が見られました。また、オリジナルの敵キャラクターや、倒したときの爆発の演出を加えるなど、それぞれが個性あふれるゲームを完成させることができました。

完成したゲームを友達同士で遊び合うと、「すごい！」、「倒せた！」といった声があがり、達成感を味わうことができました。友達に遊んでもらい、褒められたり、自分で作ったゲームで楽しく遊んだりする経験をとおして、子供たちの自己肯定感も高まった学習となりました。



## 肢体不自由教育部門中学部 3年修学旅行

肢体不自由教育部門中学部 教諭 宇治 忠夫

11月25日(火)から26日(水)にかけて、葛西臨海水族園と東京ディズニーランドに行ってきました。初日は、葛西臨海水族園で悠々と泳ぐマグロの様子やペンギンなどを見ました。体験コーナーでは、磯に暮らすナマコやカニ、ウニに触れ、ドキドキ不安そうにしたり、興味をもってじっくり触れたり、貴重な体験を積むことができました。宿泊先はBumB 東京スポーツ会館で、入浴、夕食、レクリエーションなどを楽しみました。友達と一緒に泊まる時間は、とても楽しかったようです。翌26日は東京ディズニーランドに行きました。天候に恵まれ、人気のアトラクションに乗ったり、パレードを見たりしました。どの生徒も普段とは違った素敵な表情をたくさん見せていました。お土産もたくさん買って、時間いっぱい夢の国の世界を楽しむことができました。事後学習では、思い出を振り返り、顔をキラキラさせ、素晴らしい時間を友達や教職員と共有することができました。

御協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



## 肢体不自由教育部門高等部 2年修学旅行

肢体不自由教育部門高等部 2年学年主任 主任教諭 中村 嘉人

12月3日(水)から12月5日(金)にかけて、神奈川県横浜市と八景島へ修学旅行に行ってきました。初日は横浜中華街で昼食を楽しみ、その後横浜博覧館で買い物をしました。生徒たちはそれぞれ家族や友人、自分自身へのお土産を選んでいました。その後、電車で移動し、日清カップヌードルミュージアムで世界に一つだけのオリジナル「カップヌードル」を作成しました。宿泊先は「ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル」で、夕食と朝食は豪華なビュッフェスタイルでした。2日目は、横浜・八景島シーパラダイスで水族館を見学し、マリンキャンドル作りを体験しました。

3日目には、三菱みなどみらい技術館を訪れ、ロケットの開発“空への夢”から生まれた技術などについて学びました。3日間、天候にも恵まれ、横浜の魅力を存分に楽しむことができた充実した修学旅行となりました。



## 知的障害教育部門高等部2年修学旅行

知的障害教育部門高等部2年学年主任 主任教諭 兵庫 侑子

知的障害教育部門の高等部2年生は、12月10日（水）から12日（金）にかけて、大阪方面に修学旅行に行ってきました。1日目は海遊館で様々な種類の魚や大きなジンベイザメを見ました。2日目はユニバーサル・スタジオ・ジャパンでクラスごとにテーマパークや食事を楽しみました。好きなキャラクターと写真を撮ることができ、喜んでいる生徒も多くいました。3日目は道頓堀に行き大阪土産を買いました。事前学習で作った「くいだおれ太郎」や「グリコ」の看板を実際に間近で見ることができ、生徒たちも本場の迫力に興奮し、嬉しそうに記念撮影をしていました。昼食は「大和屋本店」で大阪名物のたこ焼き御膳を食べました。クラスの仲間と寝食を共にし、大きな露天風呂にみんなで入り、学校では経験できない忘れられない大切な思い出になりました。一人一人、すべての生徒がひとまわり大きく成長することができた2泊3日になりました。



## 肢体不自由教育部門高等部1年校外学習

肢体不自由教育部門高等部 主任教諭 長南 正伸

11月21日（金）、TGGグリーンスプリングス立川にて校外学習を実施しました。事前学習では、当日に行う「買い物体験」に向けて、英語でのやりとりを練習し、必要な表現を予習して準備を整えました。

当日は、会場に入るとすぐに多くのネイティブスピーカーの方々から英語で温かい歓迎とミッションを受け、生徒たちの気持ちも自然と高まりました。買い物体験では、指定された商品を購入するために、英語やボディランゲージ、表情など、それぞれが自分に合った方法で積極的にコミュニケーションを取り、参加した全員がミッションを達成することができました。英語でのやりとりを楽しむ様子も多く見られ、笑顔あふれる活動となりました。

事後学習では、「英語で話すことが楽しかった」や「レストランで食べたアイスクリームがおいしかった」など、一人一人が体験を振り返りながら思い出を発表し、学年としての一体感もさらに深まったようでした。

保護者の皆様、生徒たちの健康管理や持ち物等の準備など、様々な御協力をいただき、ありがとうございました。



## 知的障害教育部門中学部3年就業体験

知的障害教育部門中学部進路担当 教諭 山市 臨太郎

12月5日（金）に3年生が就業体験へ行ってきました。新型コロナ感染症により中断していましたが、6年ぶりに再開いたしました。今回は、社会福祉法人清陽会の府中あゆみ園、ひまわり園に二つのグループに分かれて、見学及び活動体験を行ってきました。施設では様々な場所を見てまわりましたが、生徒たちは学校とは異なる環境に緊張しつつも、興味をもって見学することができました。また、活動体験では園内の清掃活動と音楽活動に意欲的に参加しました。今回の就業体験の始まりと終わりに行なった挨拶では、普段の作業学習で練習しているときと同じように、全員で、はっきりと大きな声で挨拶することができました。

中学部の時期から高等部卒業後の進路について学ぶ機会を設けることで、生徒たちが主体的に自分自身の進路について考え選択するためのきっかけとなります。今回の事後学習で、生徒たちは「緊張したけれど楽しかった。」と就業体験について前向きに捉えることができました。3学期には2年生の就業体験も計画しています。2年生の就業体験も充実したものとなるよう進路学習に取り組んでまいります。



## 知的障害教育部門中学部1年植栽活動

知的障害教育部門中学部SDGs担当 主任教諭 犬飼 晃

12月2日（火）に1年生が、飛田給駅前ロータリーにて、植栽活動に参加しました。今年度からけやきの森学園単独での参加となり、暖かい日差しの降り注ぐ中、ボランティアの「ちようふ花未来くらぶ」の皆さん、調布市役所の公園課の職員の皆さんと協力して、フラワーメリーゴーランドにパンジーの花を飾り付けました。それぞれ自分のお気に入りの色の花を選んでは、「ちようふ花未来くらぶ」の皆さんと協力して好きなところに花を配置しました。沢山の数の花苗があり、何度も作業を繰り返し頑張り、綺麗な花のオブジェを完成させました。

協力してオブジェを作り上げた「ちようふ花未来くらぶ」の皆さんらと笑顔で記念撮影し、記念品として、学校給食の「残渣（ざんさ）」などから作ったけやき特製の「堆肥」と、知的障害教育部門高等部が育てたパンジーの幼苗を中学部の作業学習でハンドワーク班の作った「紙袋」に入れてプレゼントし、大変喜んでいただきました。



## 知的障害教育部門高等部ラグビ一体験

知的障害教育部門高等部 指導教諭 安仁屋 政秀

12月2日（火）、知的障害教育部門高等部の生徒を対象にラグビ一体験を実施しました。今年度で4年目となる今回も「東京サントリーサンゴリアス」の選手・スタッフの皆さんを講師としてお招きして行うことができました。同じ府中市で活躍するチームの選手・スタッフの皆さんによるデモンストレーション、ラグビーボールを使った活動に、生徒たちは目を輝かせながら取り組む様子が見られました。

今回初めて選手・スタッフの皆さんと交流する時間を設けました。選手からサインをいただいて握手をしてもらったり、一緒に写真を撮ってもらったりと、体験以外の活動も存分に楽しみました。昨年度の体験でいただいたクリアファイルを持ってきてサインをもらう生徒もいて、年に1度の体験ではあるものの、活動のつながりを感じる場面でした。そして、今回の体験を通じて、スポーツを通じた交流の素晴らしさを改めて感じることができました。余暇活動の一部として、試合会場に足を運んで観戦する、テレビで観戦するなど、「する」以外でも様々な形でスポーツに親しめる期待しています。



## 給食試食会

主任栄養士 池 原 悠

栄養士 小田桐 万里子

12月10日（水）、保護者対象の「給食試食会」を実施し、13名の保護者の方に御参加いただきました。給食試食会では、本校の学校給食の目的や本校の学校給食について、動画を交えながら御説明した後、給食（普通食・後期食・中期食・初期食）を試食していただきました。

御参加いただいた保護者の方からは、給食の食材の納入やアレルギー対応、形態別調理等様々な観点からの御質問をいたたくなど、活気あふれる給食試食会となりました。また、温かい御意見と御感想をたくさんいただきました。今後も安心・安全でおいしい給食を提供することができるよう、栄養士・調理員一同努めてまいります。



◎当日の献立：牛乳 ジャージャー麺 中華風卵スープ りんごヨーグルト

### 御参加いただいた方の御意見・御感想（抜粋）

- ・給食調理への理解が深まりました。安心・安全への配慮が行き届いた様子がよく分かりました。
- ・以前参加した際とはまた違った形式で、新鮮で楽しめました。給食は食育として子供が学習する場であることが感じられました。
- ・形態食は食材の段階から食材の段階から別調理されているとの事で感動いたしました。食材や味付けにもきめ細かい配慮を感じ、日頃このような給食をいただける子供達は本当に幸せです。

